

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 5年 6月16日更新

事務事業名		行政不服審査会運営事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康			所属部	総務部	課長名	坂本 浩一郎
	施策	2	行政改革の推進			所属課	総務課	担当者名	濱田 祐史 野邑 仁美
	施策の柱	9	評価機能の確保			所属班	総務・男女共同参画班	(内線)	1226
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 1	事業連番 11691	根拠法令	行政不服審査法 熊本広域行政不服審査会共同設置規約		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 28 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	行政不服審査法に基づく審査請求がされ、行政不服審査会への諮問が必要な際に、熊本広域行政不服審査会に対し諮問し、答申を受ける。
【業務の流れ】	①審査庁が審理員意見書の提出を受け、諮問が必要な場合は熊本広域行政不服審査会に諮問し、答申を受ける。 ②熊本広域行政不服審査会の事務局である熊本市に対し、熊本広域行政不服審査会負担金を支払う。
【主な予算費目】	負担金
【意見や要望】	なし。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	行政不服審査法に基づく審査請求がされ、諮問が必要な際に要する経費である。行政不服審査法に基づく審査請求がされた時に開催する審査会に要する経費である。	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
行政不服審査法に基づく審査請求がされ、諮問が必要な際に要する経費である。行政不服審査法に基づく審査請求がされた時に開催する審査会に要する経費である。	【基準に達しなかった理由】継続中の審査請求があったが、取り下げられ、審査会を開催しなかったため。	行政不服審査法に基づく審査請求がされ、熊本広域行政不服審査会へ諮問した際に、事務局である熊本市へ負担金を支払う。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ ア: 審査会の開催回数	イ:	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	審査請求人	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位) 人
		→ ア: 委員
		イ: 諮問件数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	審査庁は、裁決をするにあたり、第三者機関である行政不服審査会に諮問を行い、その答申結果を反映した裁決を行う。	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位) 件
		→ ア: 答申件数
		イ:
*③成果指標設定の理由と 5年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
諮問案件について、審査会が慎重に審議し、答申を出すことにより、諮問機関としての機能を果たすため成果指標の設定とした。		全体計画
		~ 年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	
① 活動指標	ア	回	1	0	1	0	1	1	1	1	
	イ										
② 対象指標	ア	人	3	0	0	0	0	0	0	0	
	イ	件	2	0	1	0	1	1	1	1	
③ 成果指標	ア	件	2	0	1	0	1	1	1	1	
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	33		144		144	144	144	144
		(A) 事業費計	千円	33	0	144	0	144	144	144	144
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	144	144	144
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	3	3	3	6	3	3	3	3
延べ業務時間	時間	346	300	350	160	350	350	350	350		
(B) 人件費計	千円	1,364	1,173	1,394	608	1,394	1,394	1,394	1,394		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,397	1,173	1,538	608	1,538	1,538	1,538	1,538		

事務事業名	行政不服審査会運営事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	-------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 令和4年度の審査会開催数は0回。
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 審査会が適正な判断・決定を行うための事務作業を適正に行う。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 審議資料は、内容に過不足なく、なるべくわかりやすくかつ日程的余裕を持って各委員に届けるよう努力する。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 行政不服審査法に基づくものであるため、他に手段はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 熊本広域行政不服審査会への負担金のみであり、必要最低限の事業費のみである。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 審査会に係る資料収集などであり、削減は難しい。逆に諮問案件が増えれば人件費は増えることになる。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 審査請求の諮問を審議する機関への不負担金であり、受益者負担は適さない。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 行政不服審査法の規定によるものであり、受益者負担を求めるものではない。

3 評価結果の総括 (CHECK)

令和4年度は案件が0件

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					